

瓦じゃーなる no.11

発行:日経工務店有限会社
2018年5月吉日

こんにちは、ご無沙汰しています、おかだです。また、じめじめした梅雨時に、近づいてきてますが、どのように、おすごしでしょうか？ なかなか、お便りを書くことが、できませんが、相変わらず、あっちこっちで、お家を直ささせていただいています。

今回、自分が席をおかせていただいている、勉強会で、ご一緒させてもらっている、アトム電器 守口市 梶町店の山中さんという方のお店の外壁、屋根を改修させていただきました。山中さんは、年齢が自分と近く話がしやすいので、勉強会でも、色々なアドバイスをしてくれて、いつも参考にさせてもらったり、真似をさせてもらったり、しています。この度、山中さんが、お父さんから引き継いで、お店をされ ちょうど 40周年と節目になるの



にあたり、お店の改装を「岡ちゃん。こうこうで...」と声をかけていただき、工事をさせていただきました。勉強会には、他にも工務店の方や、建築関係の方も、いてはるのに、新参者の、自分に任せていただいて、嬉しかったです。とりあえず、喜んでいただけるように、頑張りました。ファザードは、街の電気屋さんから山中さん(息子さん)の代になり、暮らしの快適化を目指した、工務店的なお仕事も多くされているので、どんな感じのものがいいのか、ネットや、本で調べましたが、清潔感のある金属系のサイディングがシンプルで、自分のなかでは、しっくり来たので、提案してもらい、山中さんと奥さんの意見を取り入れながら、決めさせていただきました。工事は、店舗なので、シャッターボックスの上に庇をつけたり、壁を大きく前に出したり、少し、住宅の

けんちくとは違いましたが、やりがいのある工事でした。ただ、工事は、自分の思うとうりに進められましたが、工事後、色々、アドバイスをいただきま

した、それは、工事中、お客さんとの対話が、少なすぎることで、工事を進めるなかで、色々な不具合や、指摘箇所を予算内での、という自分の解釈で、対応させていただきましたが、そこは、お客さんに、相談しないとイケないというアドバイスをいただきました。工事中は、あれやこれやと無中になっていますが、終わって冷静に考えると、申し訳なかったと思います。

こういった、アドバイスは、本当にありがたいと思います。



日本酒イベント

今年も毎年開催される日本酒のイベントに行ってきました。最近、毎年、さそわれるので、行くのですが、本当は、ビールが好きで、誘ってくれるメンバーが、楽しいので、参加というよりついて行ってるという感じです。

会場は、国立京都国際会館で開催され、交通の不便なところにもかかわらず、たくさんの人でした。テレビの取材も来ていて、会場は、テーブルの数が限られているので、開催の時刻になると早い者勝ちというくらい人気でした。大体は、お酒好きな方か、お店をされている方、が多く、日本酒の味や産地、銘柄など、とても詳しく、話には、ついていけないレベルです。自分は、みんなで楽しく呑むのが、好きなだけで、味は、やっぱりわかりません。特に「二兎」というお酒のブースと、「獺祭」のブースが人気があり、どちらとも並んで呑みましたが、甘すぎて、自分は、少し苦手でした。入場する前にもらう引換券の枚数分だけ、お猪口に入れてもらえ、いいお酒になると2枚、3枚と枚数が、必要になるシステムで、せっかくなので、3枚のものばかり、いただきました。一番、おいしかったのは、「剣菱」の大吟醸だったのですが、色が少し、黄色かったので「岡ちゃん、検尿してきたん？」と笑かされ、半分以上吹きこぼしてしまいました。確かに、色目は、宜しくないです。昼間から呑むとよくまわって、楽しい時間を過ごさせていただきました。



屋根の上に屋根



先日、いつもお世話になっている、お客さんから、親戚のお家の屋根をなおしてもらいました。鉄筋コンクリートの立派なたたずまいで、やねは、40年くらい前に、施工された、アスフェルトに保護の砂を吹き付けた材料で、葺かれていました（シングル葺き）。経年劣化で、ポロポロになっていて、

風のきつい日になると、飛んで道におち、人にあたると危ないので、何かいい方法は、ないか？とたずねられ、鋼板で覆いかぶせるようにおすすめしました。シングル葺きは、今、また、少し使われてきている屋根材で、葺き替えるのも、意匠的には、いいと思ったのですが、材料自体の対応年数が、10年から15年と少し短いのと、予算をあまりかけずにとのことだったので、鋼板で既存の屋根材を撤去しないで覆わせてもらいました。（アスベストは、処分費が、かかるように、アスフェルトも処分するのに、費用が掛かるので。）ご主人にそれで



で工事をしてほしい、といわれましたが、ご家庭の事情で、2~3日でしてほしい、といわれて「はい、わかりました」といって、かえってきましたが、既存の屋根にコンパネを敷き詰めないといけないので、2~3日では、ちょっと難しいかなあと思ってました。

いざ、工事にかかると、ことのほか、スムーズに進み、難なく出来上がりました。よかったです。



匠史の 道具箱

電動のこぎりの定規を紹介します。この道具は、電動のこぎりを使い、板などをカットする際、板の長辺方向にガイドの取っ手部分をあてガイドの定規部分の角度を調整して固定し、電動のこぎりの刃をカットしたいラインに合わせて電動のこぎりを定規に沿わせて使います。一度、角度を固定すると、同じ角度の板を何枚も作れます。屋根の勾配に合わせて板を切ったり、縁側の(廊下の)曲がり角の床板を切ったりするのに便利です。あと本来の使い方とは、違いますが、定規の取っ手部分に鉛直方向に水平器を当て屋根の垂木にあてると、屋根の勾配が、読めます。以前からこの定規は、ありましたが、板にあてる取っ手部分の引っかかりが甘かったり、角度調整のねじが、工具に引っ掛かたりして、慣れないと、使いづらかったですが、現在のものは、大分 改良されていて使いやすいです。今はやりの DIY や、日曜大工をされる方は、一つもっておくと、便利だとおもいます。

